

令和7年度荒川区

認可外保育施設集団指導
(居宅訪問型保育事業(個人事業主))

荒川区 子ども家庭部
子育て支援課 指導監査係



本日の流れ

1. 荒川区における指導監督～荒川区が指導監督を行うことになった背景～
2. 保育施設に対する指導監督の組織
3. 認可外保育施設の届出・報告
4. 保育内容(乳幼児突然死症候群、食事)
5. 新年度における教育・保育施設等の事故防止に向けた取組の徹底
6. 事故防止
7. 効果測定・アンケート



荒川区における指導監督 ～荒川区が指導監督を行うことになった背景～

- ◆令和2年7月1日 荒川区に児童相談所設置
(これにより政令指定都市に指定される)




- ◆児童相談所業務以外に、児童福祉法第59条の4第1項及び国の通知や要綱に基づく「児童相談所設置市の事務」が、東京都から区に移管。
- ◆認可外保育施設に対する指導監督が、児童相談所設置市の事務の1つとして東京都から荒川区へ移管された。



保育施設に対する指導監督の組織 (荒川区の場合)

※組織名称は令和7年度時点のものです。組織名称や担当部署は変更になる場合があります。

子育て支援課指導監査係 電話:03-3805-5741(直通)	保育課 電話:03-3802-3111(代表)
<ul style="list-style-type: none">● 認可保育所等に対する実地調査(原則年に1回)● 認可外保育施設に対する立入調査、集団指導(原則年に1回)● 認可外保育施設に対する運営状況報告の徴収(年に1回)● 認可外保育施設の基準を満たす旨の証明書の交付	<ul style="list-style-type: none">◆ 保育管理係(内線3821)<ul style="list-style-type: none">● 設置予定者に対する事前指導● 開設、変更、廃止、各届出受理◆ 保育支援係(内線3842)<ul style="list-style-type: none">● 事故報告等受付
 連携	



認可外保育施設の届出義務

- 認可外保育施設の設置者は、事業の開始の日又は変更・休止・廃止の日から1月以内に都道府県知事(荒川区長)へ届け出なければならない。

(児童福祉法第59条の2第1項又は第2項)

- 規定によると届出をせず、又は虚偽の届出をした者は、50万円以下の過料に処する。

(児童福祉法第62条の4)



届出の種別

○設置届

事業開始後、認可外保育施設設置届(別記第1号様式)、別記第1号様式別紙3の2(居宅訪問型保育事業調書2)及びその他添付書類により必要事項を届け出ます。


○変更届

事業開始後、次に掲げる届出事項に変更があった場合、認可外保育施設事業内容変更届(別記第2号様式)により変更内容を届け出ます。

- ①施設の名称・所在地、連絡先
- ②設置者の氏名(名称)・住所(所在地)、連絡先
- ③管理者の氏名・住所

○休止・廃止届

施設を休止又は廃止した場合、認可外保育施設休止・廃止届(別記第3号様式)により届け出ます。

※届出の様式は、区ホームページ「認可外保育施設について」の「運営事業者の方へ」をご確認ください。

荒川区への報告

◆運営状況報告

1年に1回、施設の運営状況を報告
(報告先:子育て支援課指導監査係)

◆事故報告

施設で重大な事故(死亡、重傷事故、食中毒など)が発生した場合に報告
(報告先:保育課保育支援係)



事故報告について

◆認可外保育施設(居宅訪問型保育事業を含む)は、重大事故が発生した場合、荒川区に報告する義務があります。

◆報告の対象となる重大事故の範囲

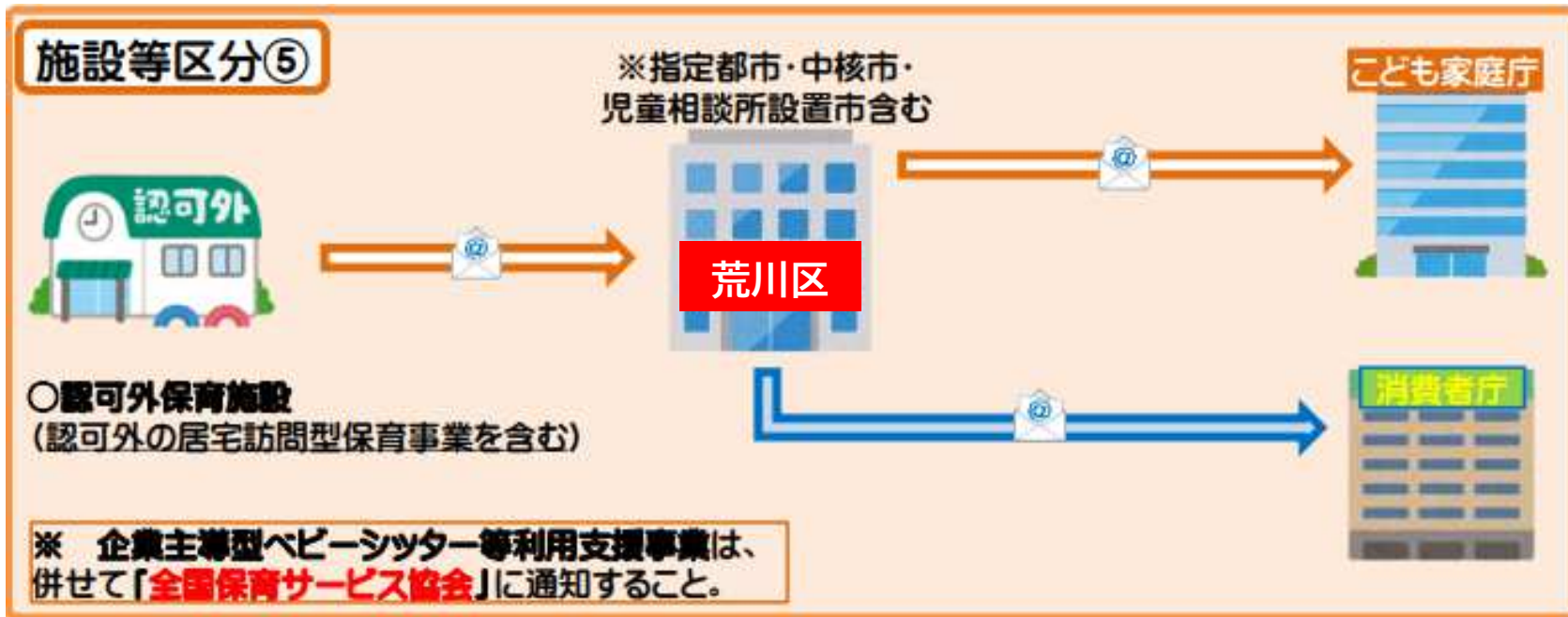
- ・死亡事故
- ・意識不明事故(どんな刺激にも反応しない状態に陥ったもの)
- ・治療に要する期間が30日以上を負傷や疾病を伴う重篤な事故
- ・感染症若しくは食中毒の発生又は発生が疑われる状況が生じた場合
- ・迷子、置き去り、連れ去り等が発生し、又は発生しかけた場合
- ・その他、児童の生命又は心身に重大な被害が生じる事故に直結するような事案
(児童への暴力やわいせつ行為等の事実があると思慮される事案を含む。)が発生した場合

◆報告先

荒川区 子ども家庭部 保育課保育支援係(電話:03-3802-3111 内線3842)



報告の流れ



第1報:原則事故発生当日(遅くとも事故発生翌日)
第2報:原則1ヶ月以内程度等



保育内容について①

《主な調査事項》

①保育所保育指針を参考に適切な保育が行われているか。
(以下の事項について理解し、配慮した保育をしているか。)

- 子どもの発達の特徴や発達過程等に関する事項
- 乳幼児への養護的な関わり(授乳、離乳食・食事の介助、睡眠・休息、排泄、入浴、清潔、だっこ等)に関する事項
- 子どもの遊び等に関する事項など



保育内容について②

②保育に従事する者に関する研修を受講しているか。

➤保育従事者の質の向上のため、定期的に研修を受講してください。

(定期的に受講することが望ましいです。)

(例)公益財団法人東京都福祉保健財団が主催する認可外保育施設職員
テーマ別研修など

➤適切な救命処置が可能となるよう、実技講習を定期的に受講してください。

※各消防署または(公財)東京防災救急協会へお問い合わせください。

③保護者と密接な連絡を取り、その意向を考慮した保育の実施をしているか。

➤連絡帳又はこれに代わる方法により、可能な限り保護者と密接な連絡を取ることを心がけください。



乳幼児の人権に配慮した保育内容①

乳幼児の人権に対する十分な配慮がなされているか。

➤乳幼児に身体的苦痛を与えることや、人格を辱めることがないなど、乳幼児の人権に十分配慮してください。

遊びの一環、寝かしつけのため、しつけのためと称するか否かを問わず、児童に身体的・心理的苦痛を与えてはいけません。



乳幼児の人権に配慮した保育内容②

保育者による虐待、不適切な保育の例

◆ 身体的な虐待・乱暴な関わり

- しつけと称して、児童の頭や頬を叩く、突き飛ばす、頭を小突くなどの暴力を振るう。
- 食事の際に無理やり口にご飯を入れる。
- 寝かしつけるときにパンパンと音がするほど強く叩く。
- バウンサー・ベビーラックを激しく揺らす。
- 児童の腕や衣服などを掴んで引っ張る。



乳幼児の人権に配慮した保育内容③

◆ 心理的な虐待・人格を尊重しない関わり

- 「お前」、「ばか」、「かわいくない」など、人格を無視した言葉や傷つけるような言葉を投げかける。
- 「早く寝てよ」、「〇〇しなさい」など、物事を強要するような言葉を投げかける。
- 「おやつを抜きにするよ」など、罰を持ち出して脅すような言葉を投げかける。
- 大きな声を出したり、おもちゃや食器などを児童の前に強く置くなどして大きな音を出し、児童を萎縮させる。



乳幼児の人権に配慮した保育内容④

性的な虐待

- 児童を裸にして保育者が、個人的に児童の写真を撮る。
- 午睡中に、児童に添い寝をして、児童の下半身を触るなど、わいせつ行為をする。
- 着替えや排せつ介助の際に、性器に触るなど、わいせつ行為をする。
- 愛情表現やスキンシップと称して、児童の体を撫でまわす、キスをする、一方的に長時間抱きしめ続けるなどの行為をする。

ネグレクト

- 汚れたオムツを替えずそのままにする。
- ベビーベッドやサークルに児童を入れたまま放置する。



乳幼児突然死症候群の予防①

- ◆ 照明は、睡眠時の乳児の顔色が観察できるくらいの明るさを保つ。
- ◆ 乳幼児のそばを離れない。
- ◆ 乳児を寝かせる時は、仰向け寝を徹底する。

1歳児以上でも、子供の家庭での生活や就寝時間、発達の状況など一人一人の状況を把握できるまでの間は、必ず仰向けに寝かせる等、子供の安全確認をきめ細かく行う。

- ◆ 保護者との緊密なコミュニケーションを取る。
 - 家庭での子供の様子、睡眠時の癖、体調等を保護者から聞き取る。
 - 預かり初めの時期や体調不良明けは特に注意して聞き取る。



乳幼児突然死症候群の予防②

◆ 睡眠時チェックをきめ細やかに行い、記録する。

- 0歳児は5分に1回、1～2歳児は10分に1回が望ましい間隔。
- 預かり始めの時期は特に注意してチェックする。
- 体調不良等いつもと違う様子の際は特に注意してチェック。
- チェック項目(児童の寝つきや睡眠中の姿勢、顔色、呼吸の状態、体温)
- 乳幼児の体に触れて確認する。

出典:「認可保育所の指導検査について」(東京都をもとに一部改変)



乳幼児突然死症候群の予防③ 及び睡眠中の事故防止

◆ その他の睡眠中の事故

- 睡眠中に児童が死亡する原因には、乳幼児突然死症候群という病気のほか、**窒息などによる事故**がある。乳幼児突然死症候群の予防策は、窒息などその他の睡眠中の事故防止にもつながる。

【窒息リスク除去方法】

- ① やわらかい布団やぬいぐるみ等を使用しない。 ② ヒモ、またはヒモ状のもの(例:よだれかけのヒモ、ふとんカバーの内側のヒモ、ベッドまわりのコード等)を置かない。 ③ 口の中に異物がないか確認する。
- ④ ミルクや食べたもの等の嘔吐物がないか確認する。 ⑤ 児童の数、職員の数に合わせ、定期的に児童の呼吸・体位、睡眠状態を点検すること等により、呼吸停止等の異常が発生した場合の早期発見、重大事故の予防のための工夫をする。

◆ 「東京都教育・保育施設等における重大事故の再発防止のための 事後的検証委員会報告書」

- 個人で長く運営し、繰り返し改善指導が行われていた24時間運営のベビーホテル(認可外保育施設)で夜間の時間帯に発生した睡眠中の死亡事故(平成30年3月28日)
- 個人で長く運営し、繰り返し改善指導が行われていた認可外保育施設で発生した午睡時の死亡事故について(令和2年3月26日)



児童の状況に応じた食事の提供①

◆ 食事中の事故防止策の例(誤嚥による窒息防止)

➤過去に、誤嚥、窒息などの事故が起きた食材は、誤嚥を引き起こす可能性について保護者に説明し、極力使用しない。

- ・プチトマトは四分割にカットする

- ・りんごや梨等の果物は離乳食完了期までは加熱するなど調理方法を工夫する。

➤子どもの食事に関する情報(発達状況等)を把握する。

➤食事の前に、当日の子どもの健康状態等を確認する。

➤ゆっくり落ちついて食べることができるよう、子どもの意思に合ったタイミングで食事を与える。

➤口の中に食べ物が残っていないか注意する。

➤子どもの口に合った量で与える。(1回で多くの量を与えない)

➤汁物などの水分を適切に与える。

➤食事中に眠くなっていないか注意する。





児童の状況に応じた食事の提供②

◆ 誤嚥・窒息につながりやすい食べ物の調理について

(3) 誤嚥・窒息につながりやすい食べ物の調理について

① 給食での使用を避ける食材

食品の形態、特性	食材	備考
球形という形状が危険な食材 (吸い込みにより気道をふさぐことがあるので危険)	プチトマト 	四等分すれば提供可であるが、保育園では他のものに代替え
	乾いたナッツ、豆類(節分の鬼打ち豆)	
	うずらの卵	
	あめ類、ラムネ	
	球形の個装チーズ 	加熱すれば使用可
粘着性が高い食材 (含まれるでんぷん)	ぶどう、さくらんぼ	球形というだけでなく皮も口に残るので危険
	餅	

⑤ 果物について

食品の形態、特性	食材	備考
咀嚼により細かくなったとしても食塊の固さ、切り方によってはつまりやすい食材	りんご 	完了期までは加熱して提供する
	梨	完了期までは加熱して提供する
	柿	完了期まではりんごで代用する

出典:「食品による子どもの窒息事故に関する注意喚起について」(令和2年2月14日付事務連絡)、
厚生労働省(平成28年3月)「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」



新年度における教育・保育施設等の事故防 止に向けた取組の徹底について

[illegible]

出典:「新年度における教育・保育施設等の事故防止に向けた取組の徹底について」
(令和6年3月29日付こども家庭庁・文部科学省事務連絡)



事故防止①

◆食べ物による窒息事故を防ぐために

- よい姿勢で食事をすすめる。
- テレビを消して食事をする。
- 口に入れたものを食べてから話をする。
- 食べる機能の発達に合わせて食品を適切な大きさにする。
- ゆっくりよくかんで食べるように促し、見守る。
- 遊んだり歩いたり、寝転んだりしているときは食事を中止する。
- 食事中にびっくりするようなことはしないで落ち着いて食べる。
- くしや棒にささった食べ物を食べる時は怪我に気をつける。

参考「保育おたより文例集」少年写真新聞社



事故防止②

◆やけどを防ぐ

- ガスコンロやフライパン、オーブン、炊飯器、ポット、ストーブ、コード等、やけどにつながるもののそばに近づけないようにする。
- 熱い飲み物や食べ物は、手の届かないところに置く。

参考「保育おたより文例集」少年写真新聞社



事故防止③

◆冬に気をつけること

- ポケットから手をだして歩く。
- 戸外で遊ぶときはマフラーやフードが遊具等に引っかからないよう気をつける。
- 室内で電気カーペットを使用する時は低温やけどにならないよう、短時間の使用にする。

参考「保育おたより文例集」少年写真新聞社



事故防止④

◆けがを予防する

(事例)

- 踏み台やいす、ソファーに登り転倒する。
- ドラム式の洗濯機の中に入り、出られなくなる。
- ペットボトルに入れた洗剤を飲む。
- 風呂場で遊んでいて転倒する。
- 水筒を下げて走り、転倒する。
- ベランダで室外機に上り転落する。
- ドアや窓を触り、挟まれる。
- 磁石を誤飲する。



参考「保育おたより文例集」少年写真新聞社

受講ありがとうございました！

下記のURLから効果測定とアンケートの回答をお願いします。

回答URL：<https://logoform.jp/form/bUir/1329594>

※右記のQRコードからもアクセスできます。



回答の締め切りは令和8年2月6日(金)です。

